

## 公立幼稚園・公立保育所のあり方について(案)

平成30年 月

大網白里市

## 目次

1	方針策定の背景 .....	2
1.1	方針策定の趣旨 .....	2
1.2	地区設定について .....	2
1.3	子ども・子育て支援新制度 .....	3
1.4	幼稚園教育要領と保育所保育指針の改訂について .....	4
2	幼稚園及び保育施設の設置状況 .....	5
2.1	幼稚園の設置状況 .....	5
2.2	保育施設の設置状況 .....	5
2.3	位置図 .....	6
3	利用者の状況 .....	7
3.1	本市の就学前児童数の推移 .....	7
3.2	幼稚園及び保育施設の利用状況 .....	10
3.3	保育施設の入所待ち児童数 .....	12
4	公立施設が抱える課題 .....	13
4.1	利用者面での課題 .....	13
4.2	施設面での課題 .....	15
5	今後の公立幼稚園・公立保育所の再編方針 .....	16

# 1 方針策定の背景

## 1.1 方針策定の趣旨

近年、女性の社会進出による共働き家庭の増加や核家族化の進行など社会情勢が変化する中で、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。

本市においても、保護者の就労により、保育施設の利用希望者は年々増加しており、子育てと仕事の両立のための多様な子育て支援策の対応が求められる一方、公立幼稚園では利用者数の減少により全ての園で定員割れが生じている現状にあり、市の教育・保育サービス提供の現状と、保護者のニーズとの乖離が顕著化してきています。

このような中、公立幼稚園を従来と同様の形態で運営していく場合、利用者数の減少により子どもの育ちにおいて適切な集団規模での園運営が厳しくなっていくことに加えて、老朽化が進行していく施設の改修等が必要となることから、多額の財政負担も生じてくるものと考えられます。

そこで、中・長期的な視点から公立幼稚園と公立保育所を、安定した子育て支援サービスを提供する公立施設として一体的に捉え、認定こども園への移行や幼稚園の統廃合等も視野にいれながら、子どもの育ちの場を確保するとともに、子どもに質の高い教育・保育を提供することを目的として公立幼稚園・公立保育所の再編方針を策定します。

## 1.2 地区設定について

本市の地理的条件や地域社会がつくられてきた長い歴史的経緯、民間施設の設置状況等地域の実態を踏まえ、大網地区、増穂地区及び白里地区の3地区を設定し、現状の把握及び再編方針の策定を行います。

なお、大網白里市子ども・子育て支援事業計画においても、「大網白里市の教育・保育提供区域の考え方」について、同様な考え方のもと、本市の中学校区をもとに3区域と設定しています。

### 1.3 子ども・子育て支援新制度

平成24年に成立した「子ども・子育て関連3法（※）」に基づき、「子ども・子育て支援新制度」の枠組みが示され、「教育・保育の一体的な提供」、「保育の量的拡大・質的改善」、「地域の子ども・子育て支援の充実」など一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目指し、平成27年4月から新制度がスタートしました。

※ 「子ども・子育て支援法」「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律」「子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」

#### 【新制度のポイント】

##### ○ 教育・保育の一体的な提供

地域の実情に応じて「認定こども園」の普及を図ります。

「認定こども園」は、学校及び児童福祉施設としての法的位置づけを持つ単体施設となり、教育・保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育所の良さを併せ持つ施設となりました。就学前の教育保育ニーズに対応する新たな選択肢として、保護者の就労状況によらず柔軟に子どもの受け入れが可能となりました。

##### ○ 保育の量的拡大・質的改善

待機児童の解消や保育ニーズの対応ができるよう、小規模保育事業や家庭的保育事業などの多様な保育サービスの拡充を目指し、「量」と「質」の両面から子育てを社会全体で支えていきます。

##### ○ 地域の子ども・子育て支援の充実

すべての子育て家庭を対象に、地域のニーズに対応できるよう、一時預かり、放課後児童クラブ等の様々な子育て支援の充実を図ります。

## 1.4 幼稚園教育要領と保育所保育指針の改訂について

国において、これまで子どもの育ちや保護者をめぐる環境の変化に対応して、幼稚園教育要領、保育所保育指針の改訂が実施されてきました。

平成29年3月には、「幼稚園教育要領」と「保育所保育指針」、「認定こども園教育・保育要領」の3法令が足並みをそろえて告示され、平成30年4月から施行されました。

この改訂により、幼稚園、保育所、認定こども園は、ともに幼児教育施設として位置づけられ、それぞれに共通する「幼児教育の在り方」が明確に規定されました。

このように、幼稚園と保育所は対象年齢や利用要件に違いはありますが、3歳以上の教育的機能については、整合性が図られてきています。

## 2 幼稚園及び保育施設の設置状況

### 2.1 幼稚園の設置状況

市内には、幼稚園が6施設（公立4園・私立2園）設置されており、利用定員は全体で1,110人となっています。

【表1】幼稚園の利用定員の状況 平成30年3月現在

地区	公私	施設名	利用定員
大網地区	公立	大網幼稚園	170
	公立	瑞穂幼稚園	170
	私立	大網木の花幼稚園	300
	私立	季美の森幼稚園	200
増穂地区	公立	増穂幼稚園	170
白里地区	公立	白里幼稚園	100
合 計			1,110

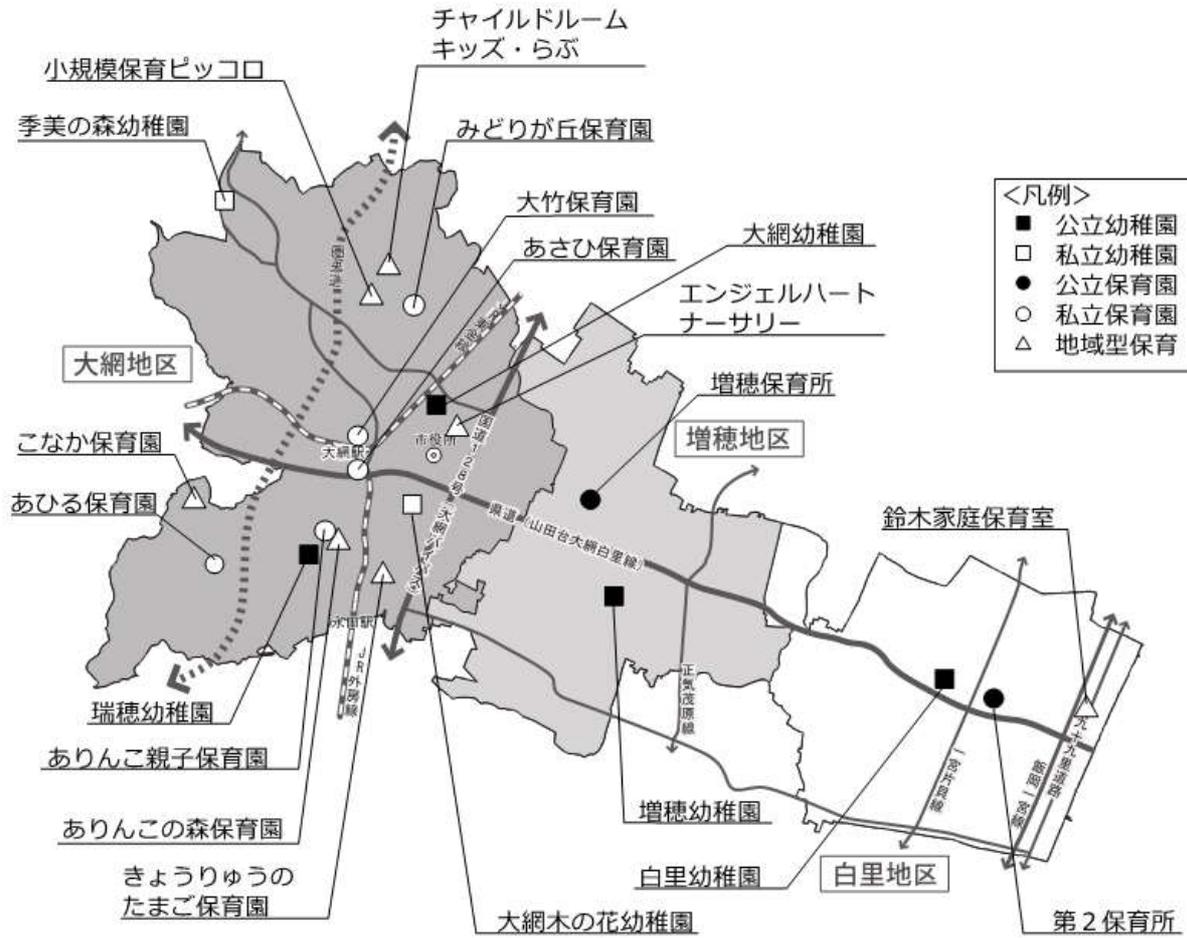
### 2.2 保育施設の設置状況

市内には、保育施設が14施設（公立認可保育所2施設・私立認可保育所5施設・地域型保育事業7施設）設置されており、利用定員は全体で663人となっています。

【表2】保育施設の利用定員の状況 平成30年3月現在

地区	公私	施設名	利用定員	種 別
大網地区	私立	あさひ保育園	119	認可保育所
	私立	大竹保育園	63	認可保育所
	私立	みどりが丘保育園	170	認可保育所
	私立	ありんこ親子保育園	34	認可保育所
	私立	あひる保育園	23	認可保育所
	私立	こなか保育園	12	地域型保育事業
	私立	チャイルドルームキッズ・らぶ	9	地域型保育事業
	私立	エンジェルハート ナーサリー	12	地域型保育事業
	私立	ありんこの森保育園	12	地域型保育事業
	私立	きょうりゅうのたまご保育園	12	地域型保育事業
私立	小規模保育ピッコロ	12	地域型保育事業	
増穂地区	公立	増穂保育所	90	認可保育所
白里地区	公立	第2保育所	90	認可保育所
	私立	鈴木家庭保育室	5	地域型保育事業
合 計			663	

## 2.3 位置図



## 3 利用者の状況

### 3.1 本市の就学前児童数の推移

#### (1) 過去5年間の状況

##### 市全体

市全体の就学前児童数の推移は、【表3】のとおりとなっています。

市全体の就学前児童数は、年々減少しており、平成25年度から平成29年度までの4年間で約10%減少しています。

また、地区ごとの推移は、大網地区が【表4】、増穂地区が【表5】、白里地区が【表6】のとおりとなっており、それぞれ次のことが確認できます。

##### 大網地区

- ◎ 就学前児童数は、微減傾向にあります。
- ◎ 各学齢の年度推移（※）は、微増傾向にあります。
- ◎ 地区ごとの集計にさきだって実施した小学校区ごとの集計では、大網小学校区の就学前児童数が増加傾向であった一方で、他の3小学校区の就学前児童数は減少傾向にありました。

##### 増穂地区

- ◎ 就学前児童数は、平成25年度から平成29年度までの4年間で24%減少しています。
- ◎ 各学齢の年度推移（※）は、微増傾向にあります。

##### 白里地区

- ◎ 就学前児童数は、平成25年度から平成29年度にかけて26%減少しています。
- ◎ 各学齢の年度推移（※）は、微減傾向にあります。

※ 表を斜め右下がりに見ていくことで年度推移が確認できます。例えば、平成25年度の0歳児は、平成26年度には1歳児になっていることから、平成25年度の0歳の人数と平成26年度の1歳の人数を比較すると年度推移が確認できます。

※ 各地区の増加の要因としては他地域からの転入などが、減少の要因としては他地域への転出や出生率の低下が考えられます。

【表3】（市全体）年齢別就学前児童数集計表（各年度5月1日現在）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	H25基準 (※)
平成25年度	290	332	369	386	386	404	2,167	100%
平成26年度	307	291	349	373	390	388	2,098	97%
平成27年度	321	316	300	359	378	385	2,059	95%
平成28年度	314	317	339	308	366	386	2,030	94%
平成29年度	283	308	332	349	308	369	1,949	90%

【表4】（大網地区）年齢別就学前児童数集計表（各年度5月1日現在）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	H25基準
平成25年度	198	229	269	249	267	263	1,475	100%
平成26年度	228	200	241	270	251	266	1,456	99%
平成27年度	225	232	208	247	274	247	1,433	97%
平成28年度	227	224	245	215	251	281	1,443	98%
平成29年度	223	233	237	257	221	256	1,427	97%

【表5】（増穂地区）年齢別就学前児童数集計表（各年度5月1日現在）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	H25基準
平成25年度	53	63	72	87	77	83	435	100%
平成26年度	41	54	69	75	88	80	407	94%
平成27年度	59	46	56	69	74	89	393	90%
平成28年度	45	56	56	58	73	76	364	84%
平成29年度	35	45	60	60	59	73	332	76%

【表6】（白里地区）年齢別就学前児童数集計表（各年度5月1日現在）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	H25基準
平成25年度	39	40	28	50	42	58	257	100%
平成26年度	38	37	39	28	51	42	235	91%
平成27年度	37	38	36	43	30	49	233	91%
平成28年度	42	37	38	35	42	29	223	87%
平成29年度	25	30	35	32	28	40	190	74%

(2) 年少人口の推計

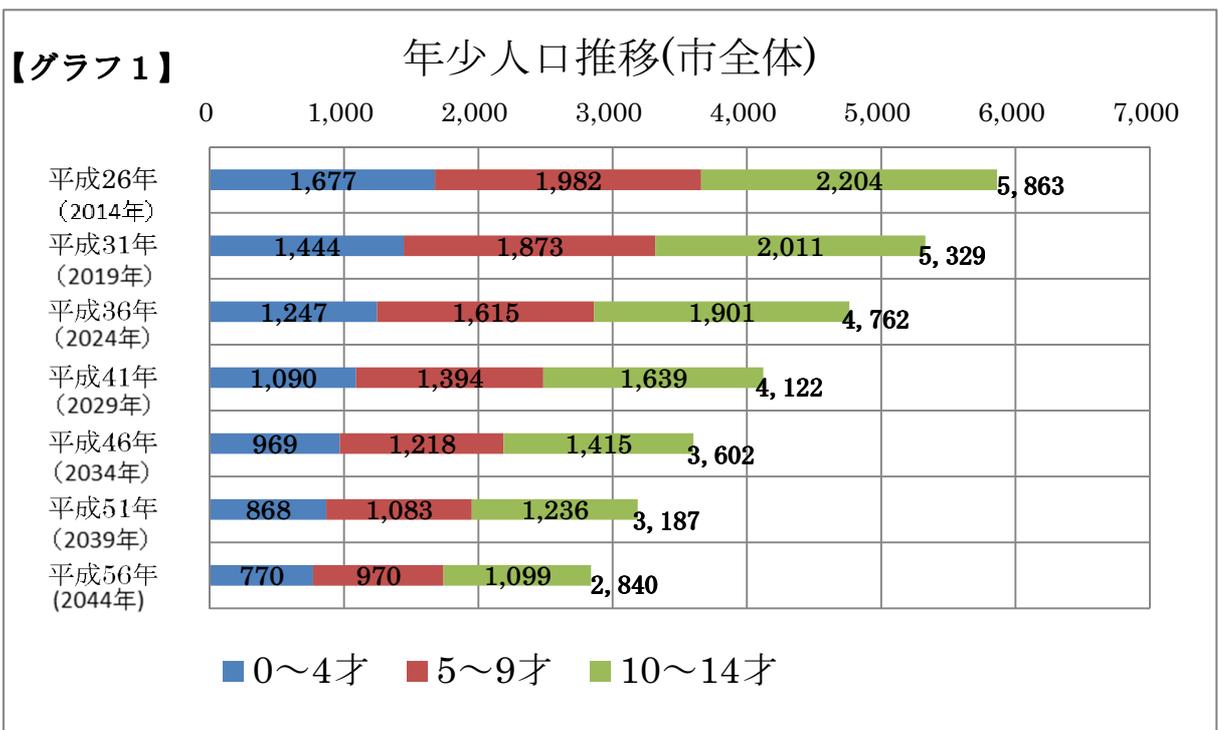
大網白里市人口ビジョンの策定時（平成27年10月）に推計された「年少人口の推計」は、【表7】及び【グラフ1】のとおりとなっています。

この推計では、平成56年の年少人口が2,840人になると推測されており、平成26年の5,863人と比較すると半分以下の人数になるとされています。

なかでも、0～4才の年少人口は最も減少割合が高くなると見込まれています。

【表7】年少人口推計（市全体）

	平成26年 (2014年)	平成31年 (2019年)	平成36年 (2024年)	平成41年 (2029年)	平成46年 (2034年)	平成51年 (2039年)	平成56年 (2044年)	H56/H26
0～4才	1,677	1,444	1,247	1,090	969	868	770	45.9%
5～9才	1,982	1,873	1,615	1,394	1,218	1,083	970	49.0%
10～14才	2,204	2,011	1,901	1,639	1,415	1,236	1,099	49.9%
合計	5,863	5,329	4,762	4,122	3,602	3,187	2,840	48.4%



## 3.2 幼稚園及び保育施設の利用状況

### (1) 幼稚園の利用状況

過去3年間の市内幼稚園の利用者及び定員充足率（利用者数／定員）は、【表8】のとおりとなっています。

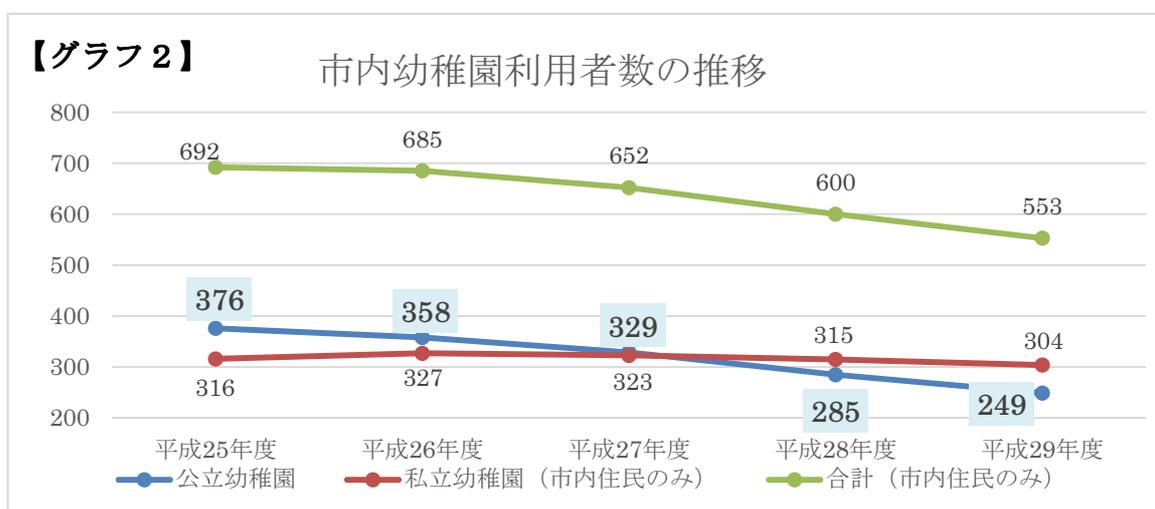
平成29年度の定員充足率でみると、公立幼稚園は41%で、定員の半数も利用されていないのが現状です。一方、私立幼稚園は93.2%で、高い利用状況にあり、そのうち3割以上（162人／500人＝32.4%）が市外から通園しています。

【表8】市内幼稚園の利用者数及び定員充足率（各年度5月1日現在）（単位：人、%）

施設名	平成27年度			平成28年度			平成29年度			
	定員	利用者数	充足率	定員	利用者数	充足率	定員	利用者数	充足率	
大網幼稚園	170	98	57.6%	170	92	54.1%	170	85	50.0%	
瑞穂幼稚園	170	76	44.7%	170	75	44.1%	170	72	42.4%	
増穂幼稚園	170	113	66.5%	170	88	51.8%	170	65	38.2%	
白里幼稚園	100	42	42.0%	100	30	30.0%	100	27	27.0%	
公立幼稚園 小計	610	329	54%	610	285	47%	610	249	41%	
大網木の花幼稚園	300	市内住民	218	94.7%	300	207	95.0%	300	200	99.7%
		市外住民	66			78			99	
季美の森幼稚園	200	市内住民	105	90.0%	200	108	85.0%	200	104	83.5%
		市外住民	75			62			63	
私立幼稚園 小計	500	市内住民	323	92.8%	500	315	91.0%	500	304	93.2%
		市外住民	141			140			162	
全体合計	1,110	市内住民	652	71.4%	1,110	600	66.7%	1,110	553	64.4%
		市外住民	141			140			162	

また、過去5年間の利用者数の推移を、公立と私立（市内住民）の別でグラフに表すと、【グラフ2】のとおりとなっています。

公立幼稚園の利用者数は、過去5年間で127人（376人→249人）、およそ34%（127人／376人＝33.8%）減少しています。一方、私立幼稚園の利用者数は、ほぼ横ばいで一定の需要を保っています。



(2) 保育施設の利用状況

過去3年間の市内保育施設の利用者及び定員充足率（利用者数／定員）は、【表9】のとおりとなっています。

平成29年度の定員充足率でみると、保育施設全体で97%、なかでも公立の増穂保育所にあつては112%と利用定員を上回った受入れが行われています。

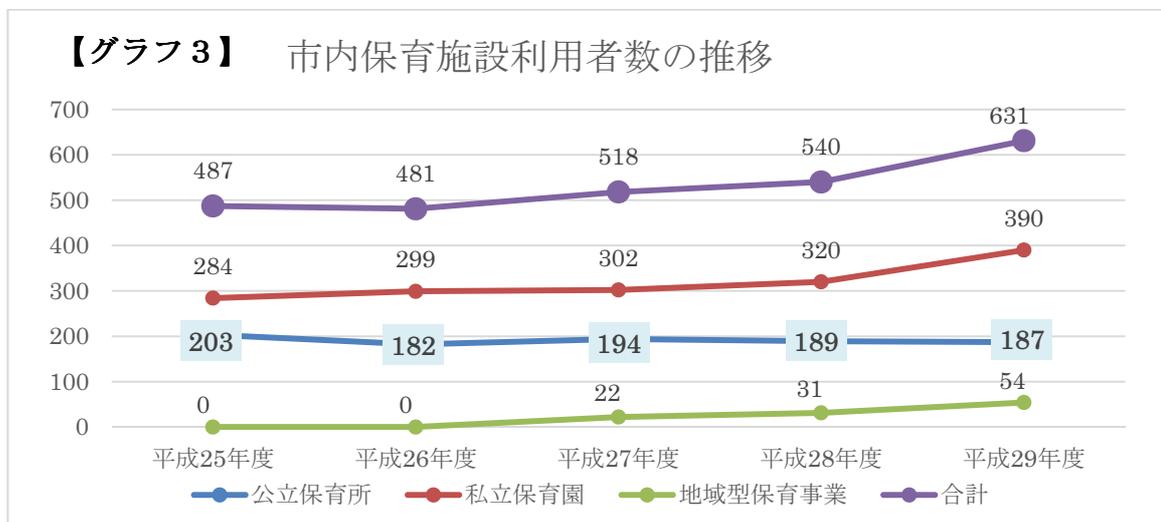
なお、第1保育所は白里地区の児童数の減少や津波避難の問題などにより、平成27年度末で児童の受入れを休止しております。

【表9】市内保育施設の利用者数及び定員充足率（各年度4月1日現在）（単位：人、%）

施設名	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	定員	利用者数	充足率	定員	利用者数	充足率	定員	利用者数	充足率
第1保育所	20	10	50%	—	—	—	—	—	—
第2保育所	90	82	91%	90	84	93%	90	86	96%
増穂保育所	90	102	113%	90	105	117%	90	101	112%
公立保育所 小計	200	194	97%	180	189	105%	180	187	104%
あさひ保育園	119	118	99%	119	112	94%	119	113	95%
大竹保育園	63	75	119%	63	70	111%	63	69	110%
みどりが丘保育園	100	109	109%	170	138	81%	170	166	98%
ありんこ親子保育園	—	—	—	—	—	—	34	25	74%
あひる保育園	—	—	—	—	—	—	23	17	74%
私立保育園 小計	282	302	107%	352	320	91%	409	390	95%
こなか保育園	12	11	92%	12	11	92%	12	12	100%
チャイルド・ルームキッズ・らぶ	9	8	89%	9	6	67%	9	9	100%
鈴木家庭保育室	5	3	60%	5	3	60%	5	4	80%
エンジェルハート ナursery	—	—	—	12	6	50%	12	12	100%
ありんこの森保育園	—	—	—	12	5	42%	12	12	100%
きょうりゅうのたまご保育園	—	—	—	—	—	—	12	5	42%
地域型保育事業 小計	26	22	85%	50	31	62%	62	54	87%
合計	508	518	102%	582	540	93%	651	631	97%

また、過去5年間の利用者数の推移を、公立保育所・私立保育園・地域型保育事業の別でグラフに表すと、【グラフ3】のとおりとなっています。

保育施設全体の利用者数は、過去5年間で144人（487人→631人）、およそ30%（144人／487人＝29.5%）増加しています。



### 3.3 保育施設の入所待ち児童数

平成27年度から29年度までの地区別・年齢別入所待ち児童数は【表10】及び【表11】のとおりです。

入所待ち児童数は、平成27年度から28年度にかけて減少しましたが、平成29年度には増加しています。

地区別では、大網地区と増穂地区で入所待ち児童が発生しており、年齢別では、0～1歳児の入所待ち児童が大半（15人／22人）を占めています。

【表10】入所待ち児童数（地区別）

	大網地区	増穂地区	白里地区	市外	合計
H27.4	35	10	5	2	52
H28.4	13	1	0	0	14
H29.4	16	6	0	0	22

【表11】入所待ち児童数（年齢別）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
H27.4	6	24	11	5	5	1	52
H28.4	3	9	1	1	0	0	14
H29.4	3	12	3	2	2	0	22

【表10】及び【表11】の状況から、市では乳幼児の更なる受け入れ枠の拡大が必要であると判断し、保育施設利用定員計画を【表12】のとおり策定し、市子ども・子育て支援推進会議において了承を得て、待機児童の解消に向け施設整備を進めています。

計画では、平成30年4月に小規模保育施設の開設及び認可化移行により定員は678人となり、更に平成31年4月には定員767人を目標数値としました。

【表12】保育施設利用定員計画

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
H29.4現在	47	85	126	127	132	136	651
H30.4予定	47	91	132	132	137	139	678
H31.4目標	56	106	146	147	155	157	767

## 4 公立施設が抱える課題

### 4.1 利用者面での課題

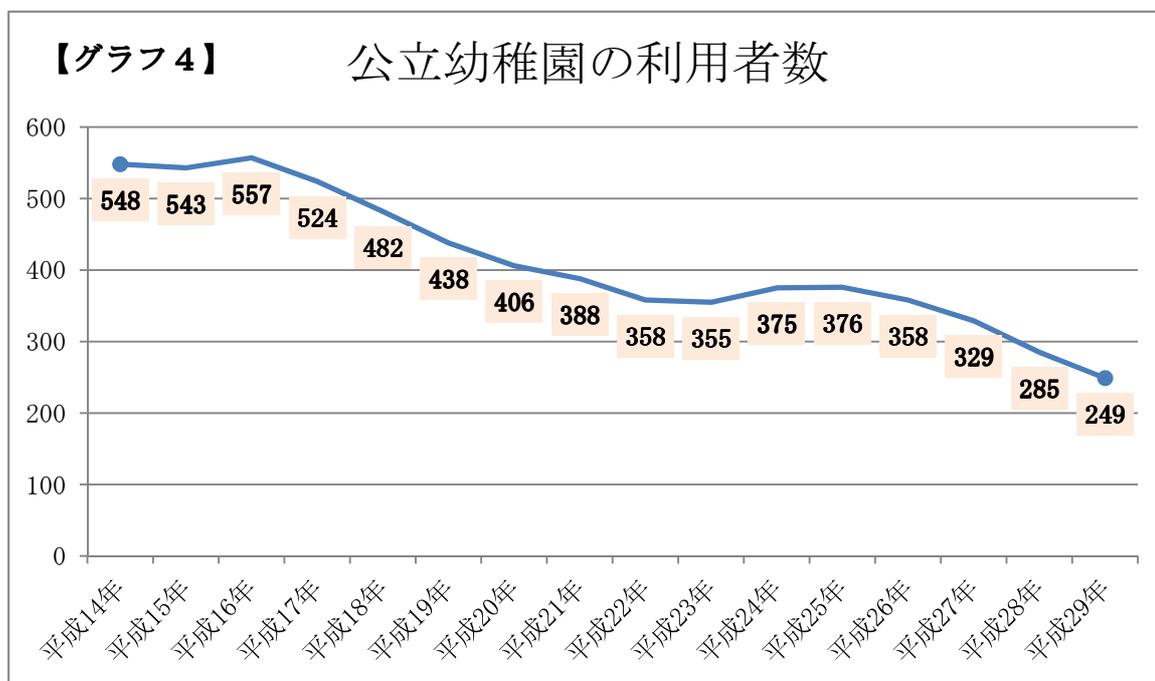
#### (1) 公立幼稚園の利用者数

平成14年度以降の公立幼稚園の利用者数は、【グラフ4】のとおりとなっています。

公立幼稚園の利用者数は、平成8年度691人がピークでしたが、平成14年度以降の利用者数は、平成17年度（524人）から減少しはじめ、平成21年度から平成25年度までの間は横ばいであったものの、その後は再び減少し、平成29年度には249人になっています。

年少人口が減少する見込みであることから、今後も就学前児童数が減少し、これに伴い公立幼稚園4園は、さらに利用者数が減少していくことが見込まれます。

平成29年度においても、白里幼稚園については、園全体で27人（【表8】参照）、なかでも4歳児の利用者数が4人と少なく、集団規模の確保という観点から課題となっています。



## (2) 公立保育所の利用者数

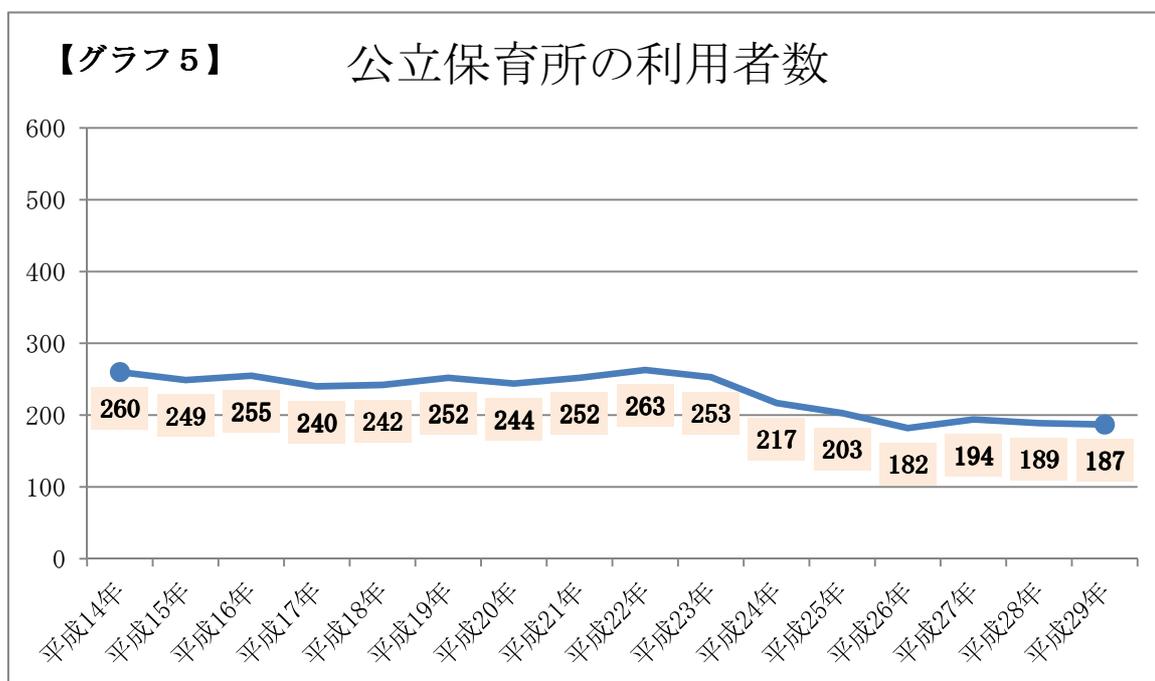
平成14年度以降の公立保育所の利用者数は、【グラフ5】のとおりとなっています。

平成14年度以降の公立保育所の利用者数は、平成14年度の260人から平成23年度の253人までの10年間は、ほぼ横ばいで推移しています。

その後、白里地区の児童数の減少及び津波浸水予想区域内にある第1保育所の受け入れを徐々に抑制し、平成28年度に第1保育所の保育機能を第2保育所に統合し、市内2園（第2保育所・増穂保育所）体制としたことから、平成29年度には利用者数は187人となりました。

第2保育所については、白里地区の児童数の減少により、今後も利用者数が減少することが見込まれます。

一方、増穂保育所では、利用定員を超過して保育を行なっています。これは大網地区に入所できない児童の受け入れ先となっているため、今後しばらくは同様に大網地区の児童を受け入れていく状況が続くものと見込まれます。（【表10】参照）



## 4.2 施設面での課題

### (1) 公立幼稚園の施設状況

【表13】のとおり、建築後40年以上を経過した施設が2施設（大網幼稚園・白里幼稚園）、30年以上が1施設（増穂幼稚園の一部）、20年以上が2施設（瑞穂幼稚園の一部・増穂幼稚園の一部）という状況になっています。

経過年数が40年を超える施設については、老朽化が懸念されています。

【表13】 公立幼稚園の施設状況

施設名	敷地面積	建物			整備年	経過年数
		構造	対象面積	階数		
大網幼稚園	1,203㎡	鉄筋コンクリート造	855㎡	2階	昭和49年	43年
瑞穂幼稚園	3,993㎡	鉄筋コンクリート造	988㎡	2階	平成4年	25年
		鉄骨造	73㎡	1階	平成12年	17年
増穂幼稚園	4,900㎡	鉄筋コンクリート造	780㎡	1階	昭和56年	33年
		鉄骨造	450㎡	2階	平成4年	25年
白里幼稚園	2,609㎡	鉄筋コンクリート造	524㎡	1階	昭和50年	42年

### (2) 公立保育所の施設状況

【表14】のとおり施設はいずれも木造で、建築後20年を経過しています。

施設の老朽化により、修繕費等の維持費が年々増加してきています。

【表14】 公立保育所の施設状況

施設名	敷地面積	建物			整備年	経過年数
		構造	対象面積	階数		
第2保育所	3,565㎡	木造	911㎡	1階	平成6年	23年
増穂保育所	3,045㎡	木造	902㎡	1階	平成8年	21年

## 5 今後の公立幼稚園・公立保育所の再編方針

市では、以上のような公立幼稚園と公立保育所の現状を踏まえ、以下のとおり、大網、増穂、白里の3つの地区ごとに、それぞれ地区の実情に応じた方針を作成し、これを基本としながら、財政状況なども考慮し、子どもに質の高い教育・保育を提供することを目的として、再編に関する検討を進めてまいります。

### (1) 大網地区

大網地区は、公立の大網幼稚園と瑞穂幼稚園、私立幼稚園2園、私立の認可保育所5施設や地域型保育事業5施設と、教育・保育施設が充実しています。

そのなかで、公立幼稚園の両園ともに利用者数が年々減少していることや大網幼稚園については借地、施設の老朽化といった施設面での課題を抱えていることから、適切な教室数を確保したうえで大網幼稚園を瑞穂幼稚園に統合する等の方法を検討します。

### (2) 増穂地区

増穂地区は、公立の増穂幼稚園、増穂保育所が設置されており、私立の施設がありません。

増穂幼稚園の利用者数が減少している一方で、増穂保育所は、大網地区の保育施設に入所できない児童の受け入れ先として、利用定員を超過して受入れを実施している状況にあり、当面は需要があるものと見込まれます。

今後、2施設の利用者数等の状況によっては、増穂幼稚園と増穂保育所を統合する認定こども園化の可能性を検討します。

### (3) 白里地区

白里地区については、公立の白里幼稚園と第2保育所、私立の鈴木家庭保育室が設置されています。

白里幼稚園は、利用者数の減少により、適切な集団規模を確保できない学齢が生じており、幼稚園単独での運営は厳しい状況です。

また、第2保育所についても、近い将来、大幅に定員割れすることが見込まれます。

このような状況にあることから、白里幼稚園と第2保育所を統合し、「認定こども園」として運営していくことを前提に検討を進めます。

〒299-3292 大網白里市大網 1 1 5 番地 2

大網白里市 子育て支援課

電話 0475-70-0347 FAX 0475-72-8454

大網白里市教育委員会 管理課

電話 0475-70-0372 FAX 0475-72-9115